

ドクター通信

14

子宮がん検診の「じょうずな受け方」

市立総合病院産婦人科部長 高橋 秀身

「恥ずかしい…」なんて
思わないで

どんな「がん」でも、早期発見と早期治療が良好な結果につながります。治療法がほぼ確立している子宮がんについては特にそういえます。子宮がん検診は「がん検診」制度の草分けともいえるほど、かなり以前から行われてきました。そのおかげで死亡率はどんどん低下してきていて、ごく初期の0期からI期ぐらいの状態で見えたと仮定するならば、九〇%以上(0期なら一〇〇%ととってもよいほど)の人が治癒するといっても過言ではありません。しかし依然として進行がんになってしまつてから病院に来る患者さんが後を絶ちません。そういう状態になってからでは、手術は不可能で、完治もほとんど期待できなくなります。

このような患者さんを減らすために、役所や成人病センターなどでは検診事業に一生懸命な

のですが、ここ大館地方の受診率は対象者の二〇%にも満たないという大変お寒い現状です。受診する人は何年も続けて受診してくれるのに、受診しない人はちつともその気になつてくれない。実はこんな人たちが「危ない」んです。ですから私たちは「生まれて初めて」とか「何年ぶり」という受診者を大変ありがたく思います。

「いまさら…」とか「恥ずかしくて…」とかお思いになるのであれば、考えてみてください。産婦人科の医者がなぜ存在しているのかを。それに、その後一、二年の健康が、ほんの数分で済む検診で確信できるなんて、お安いことではありませんか？

とにかく「検診」を！ 私たちの本音です

では、子宮がん検診の上手な受け方についていくつかまとめてみましょう。

①毎年一回の年中行事。おっくうになりませんし、忘れない

ためにも。

- ②「無症状」の人こそ検診対象者。成人なら年齢を問いません。
- ③「おりもの」や「うすい出血」があつたら検診時に必ず告げる。
- ④気になることがあつたら「集団検診」を待つ必要なし。最寄りの病・医院でいつでも十分な検診が受けられます。
- ⑤次のような人は一般的な「頸がん検診」のほかに「体がん検診」(体がん＝子宮の奥のほう、内膜という部分にできるがん。特に更年期以後の人は注意が必要です)も一緒に申し込みを。

▽糖尿病や高血圧症の人▽太っている人▽脂っこいものを好んで食べる人▽長年生理不順で悩んでいる人▽子供に恵まれなかった人▽独身の人
こういう人たちはまた、統計上「卵巣がん」にも注意が必要といわれています。

よく「子宮筋腫が心配」と言う人がいるのですが、そのような良性の「コブ」を気にするよりも、「がん検診」を励行して頂きたいという思いが、実は私たちの本音なのです。



温泉寺庭園

並木・名園・名木 ③

守りたい。。。残したい。。。

- 所在・大館市二井田字費ノ里33
- 所有者・巖松山温泉寺
- 由来・特色
(管理者・代表役員 佐藤舜英氏)

温泉寺は、文禄二年(一五九三)、秋田松原補陀寺十一世天室宗龍大和尚によって開山。戊辰戦争の際に、お堂はもとより書類や道具のほとんどを焼失したものの、明治二十三年(一八九〇)には再建され、あと三年で開山四百年を迎えます。

庭園は江戸時代(時期不詳)に造られたと伝えられており、ツツジやイチイ、モミジなど各種多数の庭園木は、枯山水の配置や地を覆うコケともあいまって変化に富んだ表情をみせてくれます。手入れも行き届き、前面に広がる田園や田代岳など遠くに連なる山々を借景とした眺めは大変見事なものです。

○ひとくちメモ・「安藤昌益の墓」と「地藏菩薩」

安藤昌益は、江戸時代中期に、それまでの世界に類のない哲学思想を創見した人物。一七五八年ごろから二井田に住み、没するまでの間、人々に思想を普及し、その実践にあたりました。この昌益の墓がここ温泉寺にあります。また、

山門をくぐつてすぐ右にある高さ二層ほどの石地蔵は、細田屋名兵衛という長者が、「出世は仏様のお陰」と四国から石材をとり寄せ、元禄十二年(二六九九)に寄進したと言われ、地域では「名兵衛地蔵」とも呼ばれています。

※見学の際は住職にご連絡ください。

